

小浜温泉エネルギー活用推進協議会設立記念シンポジウム

# ジオパークにおける 低炭素まちづくりと 地域再生

日時

平成23年**3月7日(月)**  
14:00~17:00(開場13:30)

場所

**雲仙市小浜公会堂**  
(雲仙市小浜町北本町848番地)

## 温泉エネルギー活用の明日を語る

雲仙市小浜地区は、高い源泉温度と豊富な湧出量を誇る、全国有数の温泉地帯です。

低炭素社会への移行が求められる中、小浜温泉では、未利用温泉水をエネルギーとして活用する取り組みに挑戦しようとしています。

100℃程度の熱水を利用した低コスト・高効率の発電システムは、世界的にも注目を集めている技術です。

先駆的なこの取り組みを進めることで、エネルギー自給、地域経済・観光の活性化など、さまざまな効果が期待されます。

この計画のスタートにあたり、最先端の研究者を招き、島原半島ジオパークならではの“まちづくり”について考えます。

### シンポジウムスケジュール

13:30 開場

14:00 開会・趣旨説明 長崎大学環境科学部 教授 小野 隆弘 氏  
来賓挨拶

14:20 **講演1**

**「低炭素社会への転換の必要性と地域再生への新戦略」**

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

15:00 **講演2**

**「地熱エネルギー利用の最先端と小浜温泉」**

九州大学大学院工学研究院 教授 江原 幸雄 氏

15:40 休憩

16:00 **パネルディスカッション**

**「温泉地における低炭素まちづくりと地域再生」**

パネリスト:三菱重工業株式会社 加藤 仁 氏  
朝野家代表取締役社長 朝野 泰昌 氏  
小浜温泉観光協会会長 山下 浩一 氏

コーディネーター:長崎大学環境科学部 准教授 深見 聡 氏

コメンテーター:諸富 徹 氏、江原 幸雄 氏

17:00 閉会

諸富 徹 (京都大学大学院経済学研究科教授)

京都大学大学院経済学研究科博士課程修了、横浜国立大学経済学部助教授、京都大学大学院経済学研究科助教授、同公共政策大学院助教授、同大学院経済学研究科准教授を経て現職。この間に、内閣府経済社会総合研究所客員主任研究官、ミンガン大学客員研究員を歴任。著書に『環境税の理論と実際』、『環境(思考のフロンティア)』、『経済学(ヒューマニティーズ)』、『地域再生の新戦略』、『低炭素経済への道』など。



江原 幸雄 (九州大学 大学院工学研究院地球資源システム工学部門教授)

北海道大学大学院理学研究科地球物理学専攻修士課程修了、ニュージーランド・オークランド大学地熱研究所訪問研究員を経て現職。九重地熱・火山研究観測ステーション長。2006年~10年日本地熱学会会長。著書に『日本列島は地熱エネルギーの宝庫』『中国大陸の火山・地熱・温泉』



加藤 仁 (三菱重工業株式会社 エネルギー・環境事業統括戦略室長)

三菱重工業株式会社長崎造船所入社後、本社原動機事業本部、広島製作所、本社機械事業本部、原動機事業本部を経て現職。



朝野 泰昌 (株朝野家代表取締役社長)

兵庫県湯村温泉朝野家代表。甲南大学経営学部卒業、(株朝野屋専務取締役を経て現職。温泉町観光協会副会長、新温泉町ジオパーク連絡協議会副会長、新温泉町エココンパクト計画委員。



山下 浩一 (小浜温泉観光協会会長)

フードセンターやました・小浜温泉旅館ゆのか 社長。小浜温泉観光協会会長、小浜温泉旅館組合副組合長。



深見 聡 (長崎大学環境科学部准教授)

鹿児島大学大学院人文社会科学部博士後期課程修了、NPO法人かごしま探検の会代表を経て現職。長崎大学環境教育研究マネジメントセンター副センター長。NPO法人地域づくり・観光ツーリズム研究所代表。著書に『観光とまちづくり』、『都市の景観地理日本編2』ほか。



写真提供:小浜温泉観光協会

■主催:小浜温泉エネルギー活用推進協議会 ■共催:長崎大学 ■後援:長崎県、雲仙市、九州地方環境事務所、九州経済産業局、島原半島ジオパーク推進連絡協議会

お問い合わせ 長崎大学環境科学部馬越研究室 Tel・Fax:095-819-2766  
長崎大学環境科学部環境教育研究マネジメントセンター

E-mail:obama\_symposium@yahoo.co.jp  
URL http://obamaonsen-pj.jp